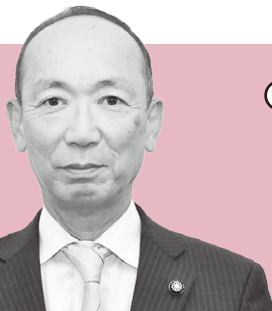


市議会
帰山寿憲
議員



○市内文化芸術活動への支援について

その他の質問

- ・勝山市の財政について
- ・市職員の庁内勤務における新型コロナウイルスへの施設対応について
- ・投票や窓口事務手続きの自動化について



写真は2年前に開かれた
コンサートの様子

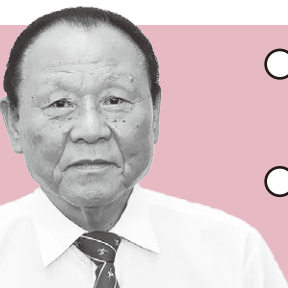


問 新型コロナウイルス対策の支援において、コンサート活動等を収入の一つとする芸術関係の方は十分な支援を受けられていない。活動自体が技能に磨きをかけていく分野でもあり、勝山市主催、もしくは委託としてコンサート、発表会等の実施を考えられないか。

答 市内在住でプロ・セミプロとしてコンサート等で収入を得ている方に対し、新型コロナウイルスにより受けた影響について聞き取りを行ったところ、共通していたことは、「個人でコンサートを開くことが困難で、そういう機会を作ってもらえるとありがたい」といった声であった。このような声に応えるため、何らかの形で市内アーティストの発表の場をつくることができないか、関係者と協議していきたい。

一般質問Q&A

市民の会
高間清一
議員



○第三波感染と言われている新型コロナウイルス感染症について ○道の駅隣接地の現状について

問 爆発的に広がっている新型コロナウイルス。勝山市には幸いにも感染者は出ていないが、いつ感染者が出てもおかしくない。今後、GOTOトラベルやGOTOイートなどを含めた全体的な予防について、市はどのように考えているのか。

答 ウイズコロナの社会に対処しつつ、さらにはアフターコロナの社会の姿を見据え、当市が持続的に発展していくために、「新しい生活様式」に対応しながら感染リスクをコントロールし、社会経済活動を継続する取り組みを、今後も国、県と一丸となって実施していく。

幸いにも当市では、※昨日まで感染者が発生していない。この状態をできるだけ長く続けられるよう、市民の皆様引き続き、新しい生活様式に沿った感染予防の徹底した取り組みをお願いしていく。

※12月8日時点

問 道の駅隣接地の造成工事が行われているが、工事の進捗状況や事業用地の取得状況、また出店を考えている事業者など、どの程度話が進んでいるのか。

答 勝山市土地開発公社が勝山市から依頼を受け、道の駅隣接地の用地取得や造成工事を実施している。現在、勝山市土地開発公社での事業の他に、民間事業者がイチゴ栽培を行うハウスの建設のための盛土工事や基礎工事を行っている。事業用地は、現段階で売買契約が締結できる土地は全て契約を締結し、今後、所有権移転登記の手続きを行う。事情により一部買収ができない土地は、借地による対応も含め、土地の取得に向けて関係者と協議を重ねていく。

道の駅隣接地における事業者の出店については、現在、ハウス建設に向けた工事を実施している民間事業者が、農家レストランの建設と運営を予定している。今後魅力ある企業誘致に努めていく。